

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)三井食品(株)相模原物流センター	階数	地上4F
建設地	相模原市緑区長竹字金原242番3外	構造	S造
用途地域	用途地域指定なし、準工業地域	平均居住人員	250 人
気候区分	6地域	年間使用時間	5,840 時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年12月 予定	評価の実施日	2015年8月4日
敷地面積	28,144 m <sup>2</sup>	作成者	三井住友建設(株)
建築面積	11,151 m <sup>2</sup>	確認日	2015年8月6日
延床面積	31,623 m <sup>2</sup>	確認者	三井住友建設(株)



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.5**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
 ①参照値 100%  
 ②建築物の取組み 61%  
 ③上記+②以外の 61%  
 ④上記+ 61%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5  
 Q1 室内環境: 3  
 Q3 室外環境(敷地内): 3  
 LR1 エネルギー: 2  
 LR2 資源・マテリアル: 1  
 LR3 敷地外環境: 3

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

##### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

#### LR 環境負荷低減性

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他	
自然豊かな周辺環境のなかに、産業集積エリアとして造成中の敷地に計画された物流センターである。敷地内は条例により、30%の緑化が求められるほか、敷地境界から極力セットバックした配棟計画としており、周辺環境に配慮した計画としている。	敷地南側に約17mほどの高低差があるが、造成工事によって、開発許可基準に適合した安全な基準の法面としている。	
<b>Q1 室内環境</b> 外皮性能及び断熱効果に優れた金属パネルを採用し、建材はすべてF☆☆☆☆を採用した。	<b>Q2 サービス性能</b> シンプルな形態とし、可変性を高められるような計画とした。また、執務スペースはゆとりのある計画とした。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 約17m高低差のある南側法面を緑地化し、良好な緑地計画を行った。
<b>LR1 エネルギー</b> LED照明設備を採用した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 敷地内に雨水貯留槽を計画。	<b>LR3 敷地外環境</b> 敷地の外周に緑地を計画し、その内側に敷地内通路、建物配置計画。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される